



Rotary

東京八王子西
ロータリークラブ



Report

2018~2019 No.4 平成30年9月21日

●会長標語

会長 峰尾 孚

温故知新が変化を生む

今週のプログラム

- 第2525回 (9/21)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*卓 話 森屋義政ガバナー補佐

テーマ：多摩南グループの活動計画の指標等
について

今回のプログラム

- 第2526回 (9/28)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*卓 話 前警視庁主席聴聞官 大木英俊氏

(三菱UFJ銀行参事役)
テーマ：東日本大震災支援警備にあたって
感じたこと

智積院は、智山派の総本山であり、「月はおぼろに東山」という有名な祇園小唄に登場する、京都東山連峰その麓から、山々を見渡すような、荘厳な寺院があります。七条通りと東大路通が交錯する東山七条に面しているのが、五百佛山と言います。五百の仏様と言いい、後、根来寺智積院と言います。関東にある三大本山であり、成田山新勝寺、川崎大師平間寺、高尾山をはじめ、全国に三千の末寺を擁しております。その総本山という事であり、八王子にも仏教界に関連している寺院が135、全部で140ほどありますが、真言宗智山派の寺院が確か22箇所ほどあると思いますので、菩提寺が真言宗智山派の方も何名かしらっしゃると思います。この東山の地で400年



高尾山法務部長 堀江承豊 氏

卓話 「智積院について」

以上の歴史を刻んできた智積院、しかし、そのルーツはさらなるいにしえに連なります。宗祖弘法大師空海の教えが、脈々と生き続く、真言宗総本山の真の姿と言いますか、少しお話ができればと思います。真言宗は18本山ありまして、高野山、東寺、仁和寺、長谷寺、智積院、醍醐寺等という18の総本山があるわけですが、真言宗智山派、弘法大師空海の開いたお寺で、平安の初期に弘法大師が入定されたのち、そのお弟子さんたちが、その教えのとらえ方によって、さまざまに解釈され、諸宗派に分裂していききました。その中で平安時代末期に高野山で活躍した中興の祖、興教大師覚鑿上人の流れが真言宗智山派です。

いるだけで勉強になる 学問のお寺

智積院は観光寺院としてそんなに力を入れているわけではなく、というのは、智積院は江戸時代前期に智山教学を確立して、学問のお寺として全国から学侶が集まり、学山智山と称された。今は大学など教育機関がいつぱいありますが、昔はこういう大きなお寺が色々な事業をやつていました。仏教密教だけでなく、国文学、天文学、数学、歴史などレパートリーが広く、今の総合大学のようなものになっていました。生徒が一番集まったときは1700人、1700人の名簿が今も残っています。常時5、600名の僧侶が勉強していました。そういうのがちゃんと文書に残っています。智積院が学問のお寺として称えられたことをあらわす言葉が、「智積院の昼寝」と言います。これは、智積院で長く学ぶとエネルギーを捨てるようなものでも勉強になるということなんです。いるだけで勉強になるといふことです。お坊さんが朝の粥をすすっている音が門まで聞こえたという話があったり、本当に600人常時いたそうです。皆さんは考えられないと思います。江戸時代の最高学府であつた智積院の面目をよく伝える言葉です。現在も智山専修学院という教育機関が智積院内にあります。修行生、学院生は弘法大師空海の教義を学ぼうと、日夜勉強に励んでいます。私も32年前、専修学院に行きまして、急きよお坊さんの道に進んだわけです。朝の4時に起きて、お経が始まるのが5時半頃でございますので、なか

なか朝のお勤めの風景もいろいろです。皆様も今回は日中でございまして、機会があれば、宿坊に泊まって、朝のお勤めは素晴らしいなと思っていただけだと思います。

智積院の歴史

およそ3万坪に及ぶ広々とした境内を誇る智積院、その中心となるお堂が金堂と言います。1705年に建立されましたが、明治15年の火災で焼失し、現代の金堂は宗祖弘法大師生誕1200年の事業として昭和50年に建てられました。当時のその時の貫長様は、秋山親下でした。高幡不動の先々代の貫長をやつていらつしました。金堂で毎日行われているのは、朝のお勤めです。経文に旋律や抑揚をつけて唱える称名は、朝のすがすがしく響き渡ります。称名はお坊さんのお経ですね、民謡や浄瑠璃など日本の音楽の原曲と言われています。厳かに鎮座する本尊大日如来、このパンドレットにありますが、この大日如来は、昭和平成を代表する仏師西村公朝の手によって作られたものであります。大きな大日如来です。ただ、15年の火災で昔あつた金堂と大日如来

2018年8月31日(金)

は消失してしまった。大日如来は真言宗でいうと中心の仏様、密教の根本仏であり、宇宙そのものを神格化した存在です。真言宗智山派総本山智積院の礎を築いたものは、平安末期に生きた高僧でした。この人は覺鑊上人と言います。このパンフレットで弘法大師興教大師と並んでいます。この興教大師の方です。この大師号というのは、日本に23人いらっしゃいます。天皇がつけるわけですけど、日蓮さんだと立正大師、最澄さんは伝教大師ということで、大師号がつけられるわけです。興教大師がうちの方の中興の祖と言われています。20歳で高野山に入っています。そこで、平安時代は長かったわけですが、その教えが衰退してしまっただけです。高野山は深刻な状態だったらしいです。目の当たりにしたところ、信心の薄い僧や権力に目がくらんだ僧がうごめき、真言宗は、衰退の一途をたどっていたのです。そこで、宗派の立て直しを決意した覺鑊は、空海の説いた真言密教を正しく伝えるため様々な取り組みを始めました。観法（瞑想のこと）を徹底し、密教修行の基本である瞑想を励むことで、悟りとは何かを見つめなおします。そして真言宗の教育

制度、伝法大会、真言宗を研究する勉強会を作りました。復活して1132年、鳥羽上皇の援助があつて、大伝法院が建立されました。かつて空海が修験寺院を設立し、学問の普及に努めたように、覺鑊は坊さんたちの教育に尽力しました。大伝法院こそが、学問のお寺、京都東山に誕生する智積院の源流になる、500年前のことでした。その覺鑊、興教大師がだんだん偉くなつていくわけです。大伝法院と金剛峯寺2つを兼務し、高野山全体を総括する立場に昇りつめます。もともと高野山にいたわけではなく途中から入ってきたので、昔から高野山にいる人は面白くなかったわけですが、面白くないだけでなく大きな圧力を興教大師は受けることになりました。そういうことを知り、座主を辞任するわけです。これ以上座主にいると混乱するということ、千日の無言行に入ったわけですね。座主を退くと金剛峯寺は武力攻撃をかけ、大伝法院と密厳院を焼き払うという凶行に出ます。権力の亡者と化した真言宗門徒のありさまを見られ、嘆いた覺鑊は、彼が千日無言行の間に書き記した密厳院の懺悔の文を残しておきます。「かくのごとき罪、われ

ら相代わつてことごとく懺悔したてまつる。さらにその報いを受けしめざり。」私はすべての人々に成り代わつて、仏様にその罪禍を懺悔します。どうか誰にもその罪禍の報いを与えないようにしてください。そういう立場にいてこういうことはなかなか言えません。私たちは専修学院において、この懺悔の文の一文を読んで、自分に戒めているわけです。覺鑊は真言宗の中興の祖というだけでなく、懺悔の聖者として尊ばれていて、宗教家の自覚をうながし、自戒するものとして、現在も真言宗智山派の間で唱えられています。高野山を下った覺鑊は、紀州根来山に修行の場を移しました。さらなる学問の追求と弟子の指導に余生を過ごしました。

大伝法院を根来山に移して、真言宗の学問寺として名が通っていました。根来山に全国から多くの学侶が集まり名を留めました。最盛期には2700の堂塔と72万石の寺領を有し、新義真言宗の根本道場として栄えました。新義真言宗とは、覺鑊さんの時代の平安時代末期に分かれたわけです。奈良の長谷寺は豊山派、根来寺も新義真言宗です。一方規模の拡大に伴つて、武力勢力を推し進め、3万人の僧兵を擁する一大勢力になります。寺院で勢力争いがあつたわけです。根来寺は昔の教科書で、ポルトガルから伝来した鉄砲がいち早く来たとしてました。その鉄砲隊まで根来寺が持つようになる。それを恐れていたのが、天下統一を目指していた豊臣秀吉です。豊臣秀吉は1585年10万の大軍を投入して根来山を攻撃したんです。お堂や聖経すべてを燃やしたんです。残された聖経は今寺院に残されて今日まで伝えられています。その根来攻めをいち早く知つたお弟子さんがいて、京都東山後に智積院を再興する、玄宥僧正です。このお坊さんが秀吉から高野山に行つてはいけないといわれ、京都の寺を転々とし、智積院の再興を目指

していきました。その後秀吉が亡くなり、関ヶ原の戦いで徳川が勝利すると、豊国神社の土地と建物の一部を智積院根来寺としました。それが今の東山の地です。智積院が京都東山で誕生したおよそ400年前、桃山時代から江戸時代に移る時代でした。秀吉の天下統一から長い戦乱の世によりやく終わりが訪れようとしていました。

屏風絵・障壁画など 国宝の数々

桃山文化を代表する長谷川等伯一門によつて描かれた、豊臣秀吉が建立し、のちに智積院の一部となつた祥雲禪寺、秀吉と淀君の子の捨丸が3歳で亡くなつて、その菩提を弔うために作つたんです。この祥雲禪寺のふすまに障壁画が書かれていました。室町時代以降、この障壁画の製作は、一大勢力であつた狩野派が独占してきました。しかし、狩野派の棟梁狩野永徳が1590年に亡くなりますと、祥雲禪寺の襖絵製作は、その直後に始まりました。その後選ばれたのが、棟梁を失い、組織が揺らいでいた狩野派ではなく、対抗勢力であつた長谷川等伯が豊臣秀吉の命を受けて障壁画の製作にかかりました。長谷川派に

とつては千載一遇のチャンスでした。等伯は金箔という豪華な素材を使った金碧障壁画にすることで期待に見事にこたえしました。今からお見せする、これが国宝「松黄蜀葵図」で、長谷川等伯の代表作の一つです。反り返るように立ち上がる巨大な松と風に揺らぎながら咲き誇る黄蜀葵、ススキなどの草木が力強く表現されています。次は「松に秋草図」大自然の力を力感あふれる構図で描き出した作品の数々は、天下を我が物にした勝利感と言えるでしょう。4 番が国宝「桜図」と言いまして、現存する障壁画の中では傑作の誉れが高いものです。長谷川等伯に一人息子がいて、久蔵 25 歳の時の作品です。きらびやかな金色を突き破る力強く伸びる桜、思わず息をのむ豪華絢爛の極みです。特筆すべきは二つ立体感あふれる桜の花びら、貝の殻で作られた白色顔料、胡粉を厚く盛り上げることで立体感を引き出すと同時に、花弁の美しさを表現しています。この桜図が物語る父以上との呼び声も高かった久蔵が、桜図を完成した翌年 26 歳の若さで突然生涯を閉じてしまいます。最愛の息子で、自らの技術すべてを教え込み、一門の後継者と

して久蔵に大きな期待を寄せていた長谷川等伯の夢は消えてしまいました。しかし、久蔵の死の翌年、悲しみを乗り越え人生の無常観を振り切つて渾身の作を描き出したのです。これが長谷川等伯の傑作と言われている「楓図」です。中央に大きく配した楓は、表面のリアルな質感まで密に描き、その周りを鮮やかな花で彩りを添えています。これは桜図です。これは「松に立葵図」です。これは等伯の弟子が描いたもので、梅雨の時に大きな花を咲かせるタチアオイと、緑深い松が優美さを競っています。これが「楓図」です。こういうものが国宝としてあります。こればかりではなく、近代日本の画家の堂本印象の襖絵、土田麦僊の「朝顔図」とか、日本の伝統技術を教えてくれるものがあります。後、庭園があります。パンフレットに載っています。名勝庭園です。これは第 7 世の運敵僧正が江戸時代の初期に増築したものです。中国の世界的に有名な廬山、そして、池は中国の大河の長江をイメージしています。奥書院から座つて眺めると素晴らしい池でございす。後は隣に墨絵があります。これも京都に行ったときは拝観できるのではと思います。

第 2750 地区公共イメージ委員会・IT 推進委員会より運用開始



スマホアプリ誕生！



本アプリは、国際ロータリー第 2750 地区に所属するロータリアン専用のスマートフォンアプリとなります。ダウンロードいただくことでコンテンツをご覧いただけるほか、情報の更新についてお知らせが定期的に届きます。

インストール手順

AppStore (iPhone 携帯) または Play ストア (アンドロイド携帯) から「RID2750」を検索。国際ロータリー第 2750 地区インフォメーションアプリが表示されます。インストールをタップするとインストールが開始されます。



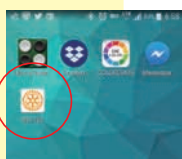
登録したメールアドレスに登録確認メールが届きますのでリンクをタップすると登録が完了します。



姓名、メール、クラブ名、会員番号 (会員証の番号) パスワード × 2 を入力。「登録」をタップする。

※メールアドレスは使用するスマートフォンで受信できるメールアドレスを入力してください。
※パスワードを忘れないように記録してください。
※既に登録されているメールアドレス、パスワードは使えません。

スマホ画面にロータリーマークのアイコンが来ていますので、アイコンをタップしてください。



先ほど登録したメールアドレスとパスワードを入力してログインします。

※一度ログインすると次回からは自動ログインとなります。



高尾山と智積院は、徳川の御三家から篤い信仰を得て、寺院の末寺も多く、大勢の弟子が本山から輩出されたわけですね。明治になり、成田山、川崎大師、高尾山は大本山になりました。大正 10 年に当山の 27 世貫主がアルプスを見て、高尾山にケーブルカーがなければいけないと思い、持ち帰りまして、高尾山の

ケーブルカーができました。これがケーブルの駅で、これが浄心門です。これは 108 段の階段で、これが山門、仁王門です。これが本堂で、これが稲縄権現堂です。神仏分離令で出てしまいました。これが今の本堂にあるご本尊様です。本山と高尾山は昔から総本山と大本山の関係ではなく、昔からそういう関係

ということです。今回 30 名近くの方が智積院にいかれるということで、観光寺の清水寺や三十三間堂の近くにあります、3 万坪の境内を擁しておりますが、そんなに観光客がいるという事はありません。学山智山、学問するお寺ということで、覚えていただければと思います。

※上図は Android で説明しています。

※アプリに関するお問い合わせは kokyo1819y@gmail.com 第 2750 地区公共イメージ委員会・IT 推進委員会まで。

イニシエーションスピーチ

2018.6.17 (金)



白石育夫 会員

本日は、このような機会を頂き有難うございます。

昨年5月の人事異動により、前任小町の後任として平成29年7月、「歴史と伝統のある東京八王子西ロータリークラブ」に入会させて頂きありがとうございます。

関社長のスポンサーのもと、入会時には、福山前会長、橋本前幹事、塚本社長、神辺社長をはじめ、役員の皆様や多くの皆様に色々ご配慮を頂き、又、大変お世話になり、誠に有難うございました。改めて、この場をおかりし厚く御礼申し上げます。

生い立ちについて

私は、昭和33年8月30日生まれで、つい一週間前に還暦をむかえました。出身は青森県北津軽郡中里町（現在は中泊町）

で、白石家の男3人兄弟の二男として生まれ、現在は青森市仲町に住んでおり、妻と息子、娘の4人家族です。

ところで、中里町と言っても皆様、殆どの方は、ご理解頂けないと思います。テレビの冬の旅番組で、地吹雪ツアーだとか、ストロブ列車でスルメを焼いているシーンをご覧になられた方はいらつしやるかと思いますが、そのストロブ列車で有名な津軽鉄道の終点の津軽中里駅と言えはご理解頂ける方もいらつしやるかと思ひます。

私の父は、もともと東京都江東区の下町の出身でしたが、祖父が戦争疎開で青森に移ったことより、地元で縁があり母と結婚し、オートバイ店を開業し永住となりました。当時は、産婆さんでの出産が主流のようでしたが、母が病弱であつた為、私は隣の金木町立病院で産まれたという事です。

この金木町というのは、小説家・太宰治の生家である斜陽館のある町で、その斜陽館は、現在、太宰治記念館となっており、近代和風住宅の代表例として2004年（平成16年）国の重要文化財にも指定され

ています。

本題に戻ります。私は実家には、15歳の中学生まで住んでいましたが、高校進学の際、どうしても行きたい高校があり、家族と離れて高校生活の3年間下宿生活を送りました。卒業後、大学進学で上京し、アパートで一人暮らし、勉強とアルバイトに励みました。大学4年の就職の際、金融関係のみの就職活動で、青森県内の金融機関に就職の選択肢もありましたが、西武信用金庫の当時面接して頂いた人事部の課長の熱心さと、企業風土といましようか、若い職員の意見を積極的に取り上げてくれる社風に心打たれ、西武信用金庫への入庫を決めました。

西武信用金庫の入庫式直前に、私にとつて、大変な出来事がありました。今迄、自分の我儘を聞いてくれて、色々苦労をかけてきた母が3月末に56歳で他界、後を追うかのように父も同年5月に62歳で他界しました。まさに、これから親孝行しなければと思つていた矢先であり、思ひもよらぬ大ショックな出来事がおきました。

目標は全店トップの融資係

親の緊急時にすぐさま駆け付けられない東京に就職すべきではなかったのではないかと、田舎に帰つて就職すべきではなかったのか。自問自答して悩んだ時期もありました。しかし、たどり着いた答えは、東京で自立して生活できるようにする事が、親への恩返しであり、兄弟に心配をかけるない事だと考え直し、目標を常に高く持ちながら、仕事に励むよう気持ちを切り替え、全店トップの融資係になろうという目標を待ちました。

当時、西武の中では、融資課に所属していることが役職に就くためのステップであり、近道でもありました（時代が変わり、現在融資課は組織改正となりなくなつた。幸運な事に、入庫してから融資担当、融資課長と融資畑で育ってきました）。

融資課長として2店舗目に配属となつた支店で、転勤早々、当時の専務理事に債権書類の見直しを命じられ、約半年間で補完整備する事ができました。半ば意地と言いましようか、プライドで成し遂げたという感じがします。今、考えてみると、金庫全店で過去現在において、このような経験が出来たのは、自分だけ

であり、大変でしたが、とても貴重な経験をさせて頂いたと当時の専務理事に感謝しております。

その後、店長になるための準備として、副支店長を3年間経験させて頂き、長岡支店支店長、立川南口支店支店長、拝島支店支店長に配属の際に執行役員として拝命し、昨年5月に八王子支店に転勤配属となり現在に至っております。

八王子支店は、平成22年の新店舗開設という事もあり、初代支店長が浅く、広くという営業展開でしたが、2代目としては、新規取引は勿論ですが、お取引頂いているお客様との関係をより厚く、深く、末永くお取引できるよう深耕させていく事が私の役割りと考えております。融資を中心としたスタンスで、お客様や地域の歴史と特異性を重んじ、今迄のネットワークを活かし、八王子の地域の発展や各企業様や個人の皆様の発展に、微力ながらお手伝い出来ましよう一層努力していきたいと思ひます。融資、預金、資産運用、事業承継、相続対策等々、どんな事でもご相談いただきたいと思ひます。

例会 報告

第2522回 ● 2018・8・31 (金)

◇司会 岸田功典会場監督補佐

◇開会点鐘 峰尾 孚会長

◇Rング 我らの生業

◇食事と交歓 和食

◇お客様のご紹介 峰尾会長

堀江承豊様

鈴木秀男様

糠信秀企様

◇出席報告・ニコニコ発表

鈴木重春出席財務委員



出席報告・ニコニコ発表
鈴木重春
出席財務委員

会員111名中74名出席。
出席率72・55%。前々回8月
17日の出席率73・53%を78・
43%に修正します。

◇会長挨拶 峰尾 孚会長



会長挨拶
峰尾 孚会長

*先週の納涼例会にはたくさん
のご出席を賜りまして大変
ありがとうございました。

*U-20女子サッカーはスペイン
と戦い3対1で優勝しました。

*9/9 親睦旅行で貴船の川
床に行きますが、台風が心配
です。

*本日は高尾山の堀江さんに

智積院についてお話ししてい
ただきます。

*早いもので新年度も2ヶ月が
経過しました。残りの10ヶ月、
一生懸命任務を果たしたい
と思っております。

◇幹事報告 小沢孝志幹事

*東京東京日野RCより公開
卓話例会のご案内をいただ
きました。ご興味のある方は
事務局までお問合せください。
*本日例会後クラブ協議会リ
ハールがございます。

◇活動協力金贈呈

ボーイスカウト八王子協議
会鈴木秀男事務局長

◇補助金贈呈

東京八王子ローターアクト
クラブ糠信秀企会長
◇ポールハリスフェロー記念
品贈呈

畑山浩司会員、井草一寿会
員、松島 勝会員、瀬沼庄次
郎会員、橋本 孝会員



◇スピーカー紹介

西川誠治プログラム委員

スピーカー

高尾山薬王院法務部長

堀江承豊氏

テーマ 智積院について

◇閉会点鐘 峰尾 孚会長



ニコニコボックス

◇峰尾会長・堀江先生のお話
し楽しみです。宜しくお願
い致します。

◇小沢幹事・堀江さん卓話よ
ろしくお願致します。24日
納涼たくさんさんの参加ありが
とございました。

◆福山・9月15日開催の八王
子おわりに対して多くの会
員の方々に協賛いただき
ありがとうございます。

当日雨が降らぬ様祈るばか
りです。

◇鈴木秀男 (東京八王子北R

C)・いつもボーイスカウト
へ補助金をいただきまして
ありがとうございます。

◇田辺・いつもボーイスカウ
ト活動にありがとうございます
ます。

◇鈴木重春・出席財務委員会
よろしく。

◇金子・先週の納涼例会に沢
山のご出席ありがとうございました。

(順不同 会員敬称略)

九月三祝

長月 (ながつき)

誕生花 えぞ菊
誕生石 サファイア



会員誕生祝

黒須 弘道 75回

山本 正光 72回

鈴木 雅徳 56回

山本 俊明 55回

松崎 眞司 48回

田中 伸幸 47回

的田 健司 47回

黒須 典子様

及川 知弥子様

青木 美紀様

田中 紀子様

平野 晶保様

明利 千枝子様

末木 里栄様

松崎 知子様

結婚記念祝

桂田 公男 46回

蔵本 健 34回

加藤 直也 30回

坂下 幸夫 29回

松崎 眞司 24回

末木 博 23回

市川 隆 20回

田中 伸幸 18回

原 啓一郎 16回

高橋 光康 14回

立花 探 14回

(順不同 会員敬称略)

会員令夫人誕生祝

第2524回例会 古都・京都世界遺産の旅 親睦旅行京都方面

2018年9月9日(日)～
9月10日(月)



10月9日(日)～10日(月)の一泊二日で京都方面を巡る親睦旅行が32名の参加で行われました。8時10分JR八王子駅改札口に集合し、特急あずさ2号で東京駅、10時10分発新幹線のぞみ23号で京都に向かいました。

1日目

昼食は京都・伏見の料亭清和荘で美しい日本庭園を眺めながら京料理を楽しみました。

平等院拝観

その後宇治市に移動し、平等院へ。宮城俊作様(平等院代表役員)と合流し、わかり易い説明を受けました。堂内に入ると阿彌陀如来坐像、その周りを囲むようにして架けられている雲中供養菩薩像など、多数の国宝を見学しました。堂内は撮影禁止のため写真が無いのが残念です。その後鳳翔館へ移動し、平等院に伝わる数々の宝物を見学しました。

5時20分にホテルグランヴィア京都にチェックイン。夕食会場の竹茂楼に移動し、第2524回の例会が行なわれ、終了後に宴会となり京懐石をいただきました。



例会報告

第2524回 ● 2018・9・9(日)

◇司会 倉田 正会場監督

◇開会点鐘 峰尾 孚会長

◇お客様のご紹介 峰尾会長

小沢富美代様・土岐菜津美

様・河西薫様・石井静子様

森 文子様・大石千恵子様

小林和枝様

◇出席報告・ニコニコ発表

河西成幸出席財務委員長



出席報告・
ニコニコ発表
河西成幸
出席財務委員長

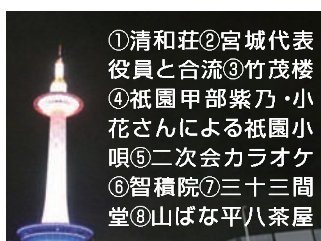
会員112名中23名出席。
出席率22・33%。前々回8月31日の出席率72・55%を83・33%に修正します。

◇会長挨拶 峰尾 孚会長



会長挨拶
峰尾 孚会長

*本日は皆様お忙しい中を親睦旅行にご参加いただきまして誠にありがとうございます。台風の影響で楽しみにしていた川床は残念でしたが、二日間和気あいあいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



2日目 智積院拝観

9時00分にホテルを出発し、智積院へ。智積院には、多くの貴重な文化遺産があります。特に長谷川等伯とその弟子達によって描かれた「楓図」「松に立葵図」や等伯の長男・久蔵の作とされる「桜図」は、桃山時代を代表する障壁画といふことです。また、大書院東側の名勝庭園は、桃山時代に造られた庭園で、中国の廬山を形どって作られた利休好みの庭として有名だそうです。

三十三間堂拝観

国宝の千手観音坐像を、さんで500体ずつ、金色の1001体の観音様は息をのむ光景。風神、雷神像はとてもリアルで驚きました。

昼食は前週の台風21号の影響で、川床料理ひろやの営業ができなくなり、急遽左京区山端川岸町の山ばな平八茶屋へに変更になりました。創業は天正年間、当時より受け継がれる名物「麦飯とろろ汁」をいただき老舗が守り続ける京料理を楽しみました。その後京都駅に移動し、ゆつくりと買い物を済ませ16時56分発の新幹線のぞみ36号で品川駅へ。貸切バスで予定通り無事八王子に到着しました。

企画していただいた金子委員長をはじめ親睦・家族委員会の皆様ありがとうございました。



ニコニコボックス

2018・9・9(日)

◆峰尾会長・USOP大坂なおみが優勝。親睦旅行宜しくお祈り致します。

◆小沢幹事・みなさんありがとうございました。

◆加藤直也・親睦旅行に参加できず大変申し訳ありません。皆様楽しんで下さい。

◆金子・京都旅行に沢山のご参加ありがとうございました。

◆石井・京都を楽しませて頂きます。

◆小杉・京都旅行楽しみです。皆さんとの親睦も楽しみにしています。

◆土岐・本日は孫娘が参加しましたので。

◆坂下・当日欠席で申しわけありません。楽しい旅でありますように。尚、添乗員の宮下が同行しますのでよろしく願います。

◆中村・岸田・所用で出席出来ません。楽しんで下さい。

◆小林秀司・夫婦で京都旅行に参加させていただきました。

◆倉田・大石創元、森、河西、鈴木重春、石森、蔵本、瀬沼、田村、平沼、三村、原啓一郎、原

巖、秋間勝仁、田中、浅川、お世話になります。

◆杉本・旅行に行けなくてすみません。(順不同・会員敬称略)

例会報告

第2523回●2018・9・7(金)

◇司会 角田昌己会場監督補佐

◇開会点鐘 峰尾 孚会長

◇君が代斉唱

◇Rソング 奉仕の理想

◇食事と交歓 100万ドルの食事

◇お客様のご紹介 峰尾会長

◇出席報告・ニコニコ発表

森出席財務委員

会員112名中76名出席。
出席率73・79%。前々回8月24日の出席率52・94%をクラブの会費を使って実施の為100%に修正します。

◇会長挨拶 峰尾 孚会長



会長挨拶／
峰尾 孚会長

*昨日の朝、北海道に震度7の地震が発生しました。震度はいくつまであるか調べたら7が最高でした。火力発電所がダメージを受け、インフラの復旧が心配です。

*今年は、豪雨、猛暑、地震など災害が多いです。

*テニスのUSオープンで大坂なおみがいよいよ決勝戦に進みます。暗いニュースばかりでは

なく明るいニュースに接し希望が感じられます。

◇幹事報告 小沢孝志幹事

*9/21ガバナー補佐が例会で卓話をされる際、できればガバナー月信7月特別号をお持ちください。

*理事会にて赤い羽根共同募金に予納金より一人当たり500円を寄付することが承認されました。

*本日の例会終了後全員協議会があります。

*9/14は親睦旅行に振替の為、京王プラザホテル八王子での例会はありません。

*10/5ガバナー公式訪問と11/12IMのご案内をお送りします。

*福山会長年度の読書感想画・感想文コンクールの冊子が出来上がりました。ご希望の方はお待ち帰りください。

*歳末たすけあいバザー開催用にバザー品の寄付を受け付けます。10/25までに事務局までお願いします。

◇新会員入会式

紹介者：檜崎 博会員
新会員：船江栄次会員

◇委員会報告

諸星宗幸職業奉仕委員長
100%出席表彰

河西成幸出席財務委員長
1年西川誠治・原巖・測上安2年小林潔正・岸田功典・

田村肇・三村裕介・池田勝・秋間勝仁・原啓一郎・塩野明・宮原真吾・笠井豊3年

小杉吉己4年瀬沼庄次郎・鳥羽正浩・青木清治・田中伸幸5年浅川立憲・加藤直也6年宮澤徳光・秋間正好・橋本孝・松島勝・山口寛8

年神辺和幸9年福山慎吾・石森浩元10年関和之17年諸星宗幸18年石井昭久19年森明20年金子裕二22年赤上晃

23年峰尾孚・大石創元・大石和春26年倉田正28年三浦真一・野口文男30年黒須弘道36年杉本勝義37年石田初雄44年土岐静雄

(順不同・会員敬称略)

◇三祝

会員誕生祝
山本正光・的田健司・黒須弘道・鈴木雅徳・松崎眞司・田中伸幸・山本俊明

会員令夫人誕生祝
黒須典子様・及川知弥子様・青木美紀様・田中紀子様・平野晶保様・明利千枝子様・末木里栄様・松崎知子様

結婚記念祝
高橋光康・坂下幸夫・松崎眞司・末木博・蔵本健・田中伸幸・加藤直也・市川隆・桂田公男・立花探・原啓一郎

(順不同・会員敬称略)

◇スピーカー紹介

榊田義久会員

スピーカー 白石育夫会員
テーマ
イニシエーション・スピーチ

◇閉会点鐘 峰尾 孚会長

◇全員協議会 2017・11

8年度決算承認

2018・9・7(金)

◇峰尾会長・本日入会の船江新会員宜しくお願ひ致します。

◇小沢幹事・白石育夫会員イニシエーションスピーチ楽しみにしています。

◇加藤正利・久しぶりの出席です。

◇山本俊明・誕生祝いがとうとうございます。

◇村内・お久しぶりです。

◇檜崎・新会員船江栄次さんをお迎えしましたので。

◇萩原・全員協議会で監査報告をさせていただきます。

◇倉田・前年度決算報告よろしくお願ひいたします。

◇山本正光・誕生祝いがとうとうございます。

◇坂下・結婚記念日の花がごを昨日いただきました。ありがとうございます。

◇蔵本・二祝頂きます。ありがとうございます。

◇橋本・前年度決算報告させていただきます。

◇田中・三祝ありがとうございます。

(順不同・会員敬称略)

◇黒須隆一・もっと知りたい台湾イベントが大盛況でしたので。

◇末木・妻の誕生日と結婚記念日のお祝いがとうとうございます。

◇松崎・本日は誕生祝いがとうとうございます。また、磯間君入会おめでとうござい

ます。また一緒に奉仕活動頑張ります。

◇的田・本日誕生日で47才になりました。お祝いを頂きありがとうございます。白石さんのスピーチ楽しみにしています。

◇船江・新たに入会させて頂きました。よろしくお願ひいたします。

(順不同・会員敬称略)

東京八王子西ロータリークラブ

東京都八王子市旭町14番1号

京王プラザホテル八王子 8F 〒192-0083

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

http://www.hachioji-west-rc.org

会長 峰尾 孚 幹事 小沢孝志

広報委員会 原 巖 青木清治 平野智彦 土岐静雄

大田吉彦 浅川立憲 小林孝行